

『日本語教育史論考—木村宗男先生米寿記念論集—』から
10年、日本語教育史研究会が世に問う最新の研究成果!!

日本語教育史論考第二輯

『日本語教育史論考第二輯』刊行委員会編

日本語教育史研究の先達から気鋭の若手研究者まで14本の論文と

戦後日本語教育史の証言者の講演を収録

- 発行元：株式会社冬至書房
- A5判／並製・カバー装／256ページ
- 定価：2,500円（税込）
- 2011年6月刊

ご注文

メールに下記4点をご記入のうえ、日本語教育史研究会 (nihongokyoikushikenkyukai@gmail.com)宛に直接お申し込みいただければ、1冊2,000円（税込）で頒布いたします。

- 1) ご芳名
- 2) ご送付先
- 3) 部数
- 4) メールアドレス

*折り返し「お振込みのご案内」を差し上げますので、ご入金次第、お送りいたします。
なお、送料はご負担ください。

日本語教育史研究会

目 次

まえがき	----- 長谷川 恒雄
第1部 論文	
日本語教育振興会日本語教科書 『ハナシコトバ』と『日本語読本』の系列をめぐって	----- 長谷川 恒雄
長沼直兄著『改訂（再訂）標準日本語読本』の補助教材の成立の背景 ——The Reader System との関係から——	----- 中川 裕子
大正期の標準語への規範意識と口語日本語教材	----- 増田 光司
日本語教育用文法用語としての「い形容詞」「な形容詞」の出自について	----- 新内 康子
日本統治下台湾の「国語講習所」における日本語教育 ——新竹州「関西庄国語講習所」の教案・日誌(1937)から——	----- 藤森 智子
日本語教科書に見る中華人民共和国成立後の中国における日本語教育 ——1950～60年代を中心として——	----- 川上 尚恵
中国赴日本国留学生予備学校における日中教育文化交流	----- 酒井 順一郎
敬語研究史におけるロドリゲス『日本大文典』の地位 ——敬語と人称の関係性に着目して——	----- 青木 志穂子
陸奥廣吉『日本語会話コース』の考察 ——馬場辰猪『日本文典初歩』との比較を中心に——	----- 金沢 朱美
ブラジル日系移民にとっての「コロニア語」	----- 中東 靖恵
黒石清作の日本語教育論——伯刺西爾時報の日本語教育関係記事——	----- 伊志嶺 安博
再考 日本語教育史の時代区分	----- 関 正昭
<研究ノート>	
日本語の学習はどのように選択され、意味づけられたのか ——韓国人日本語教員へのライフストーリー・インタビューからの一考察——	----- 田中 里奈
<記録：研究会のあゆみ>	
日本語教育史研究会のあゆみ——日本語教育史談会の活動も含めて——	----- 平高 史也
第2部 講演	
松岡弘先生講演： 『日本語の基礎』誕生の周辺	
阪田雪子先生講演： 「外国人に対する日本語教育」の復活	
川瀬生郎先生講演： 戦後日本語教育の開始とその展開——私の歩んだ道あれこれ——	
あとがき	----- 『日本語教育史論考第二輯』刊行委員会